



今月のグッジョブ  
[危機管理課]

自然災害はもちろん、  
あらゆる危険から県民の命を守ります



24時間体制の防災室



防災班 馬場太志さん

長崎は海や山に囲まれて自然が豊かな反面、災害が起こる可能性も高いんです。土砂災害警戒区域や特別警戒区域など、危険な場所に住んでいる方がたくさんいます。外部の情報を敏感にキャッチするなど、自然災害に対する警戒を高めていきたいと思っています



防災班 石川雄二さん

東日本大震災では、警察や消防、自衛隊の力により多くの命が救われましたが、ご近所の力により救われた命も、それ以上に多かったと言われています。地域の防災対策を効果的に行い、「自らの地域は皆で守る」という意識で自主防災活動を行うことはとても重要です

## 24時間体制で災害・ 危機の発生に備える

今回紹介する危機管理課には、基地対策・調整班、防災班、無線班、原子力対策班からなる20名の職員のほか、災害などの警戒・監視のため24時間体制をとっている防災室に勤務する嘱託職員が所属しています。知事直属の組織で、自然災害に限らず、弾道ミサイル発射や原子力災害、テロ攻撃など、さまざまな災害・危機の発生に備えています。

「4月の熊本地震では、5年ぶりに災害対策本部を設置し、全員が参集し対応しました。台風による警戒は、事前に予測できませんが、ゲリラ豪雨による大雨警戒など事前に予測できない場合があり、真夜中や早朝に、直ちに職場へ急行することもあります」と語るのは防災班の馬場さん。

また、災害防止を目的に、毎年、台風や地震等を想定した総合防災訓練のほか、石油コンビナート等総合防災訓練、原子力防災訓練、テロ攻撃等を想定した国民保護訓練などを実施。さらに、地域における防災力の向上を図るため、毎年2回県内各地で自主防災リーダーの養成講座も開催しています。

「危機管理課のモットーは、災害時の被害を最小化し、災害からの迅速な回復を図る『減災』。災害発生時は人命が失われないことを最重視し、経済的被害ができるだけ少なくなるよう、さまざまな対策を組み合わせて災害に備え、ハード・ソフトの両面から、総合的な防災・減災対策に取り組んでいきます」と石川さんは熱く語ります。

危機管理課の皆さんの力強いガッツポーズから強い使命感が伝わってきました。



「県民の安全のために今日もがんばります！」大きな災害が起きた時に立ち上げる「長崎県災害対策本部」の看板と共に力強いガッツポーズ

「減災」のために  
風夜を問わずがんばる  
姿に Good Job!!



空から県民を守る長崎県防災航空隊。  
ヘリコプターの機動性を活かし、消火・  
救急・救助の災害現場で活躍しています



県政を進めていく中で一番大切ことは、  
県民の皆さんが安心して暮らせる環境を整  
えていくことです。

いつ起きるかわからない自然災害や事  
故などのさまざまな災害・危機事象に備  
え、24時間体制で警戒・監視し、人的被害  
が出ないように全力で取り組んでいきます。

長崎県知事 中村法道

